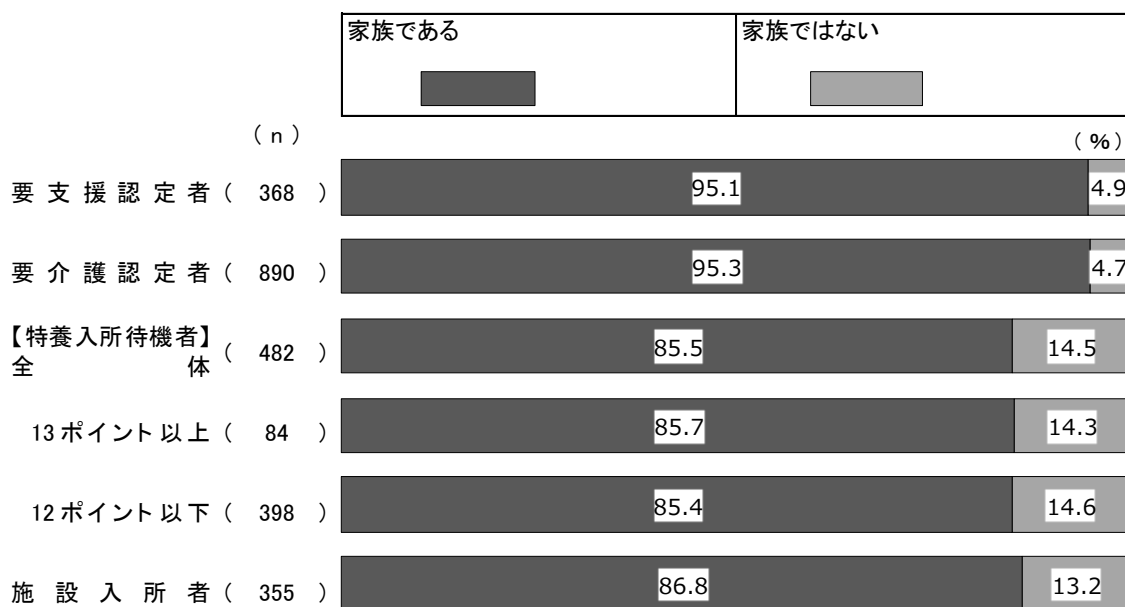


## 12 家族介護の状況

### (1) 主な介護者

○主な介護者が「家族である」と回答した人は、要支援認定者および要介護認定者では9割半ば、特養入所待機者および施設入所者では8割半ばとなっている。

■主な介護者



※ 無回答を除いて集計

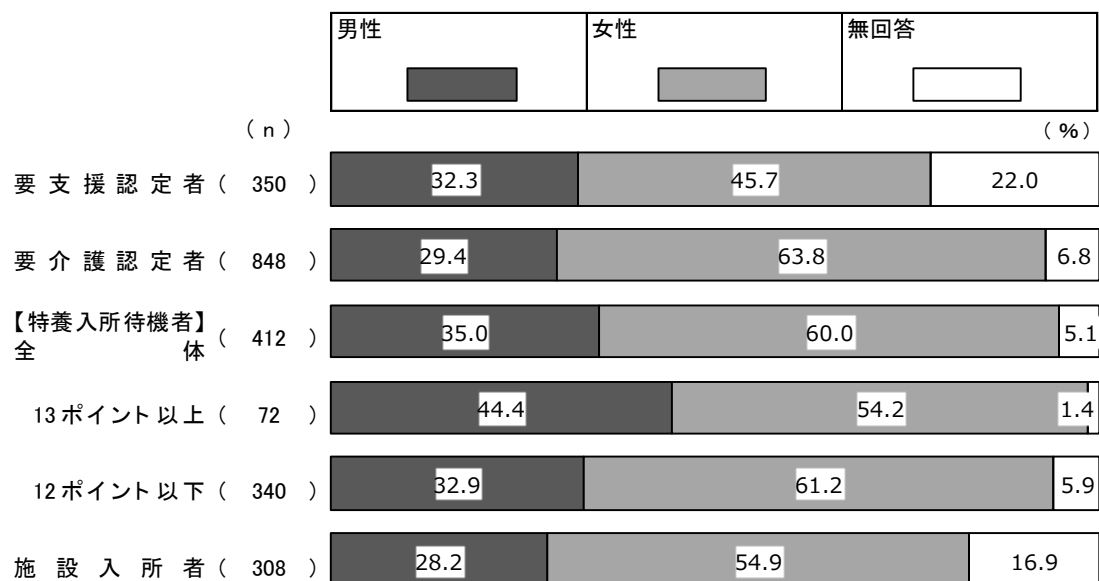
※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

### (2) 主な家族介護者の属性

#### ① 性別

○主な家族介護者の性別は、要支援認定者、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者ともに「女性」が「男性」を上回っている。

■性別

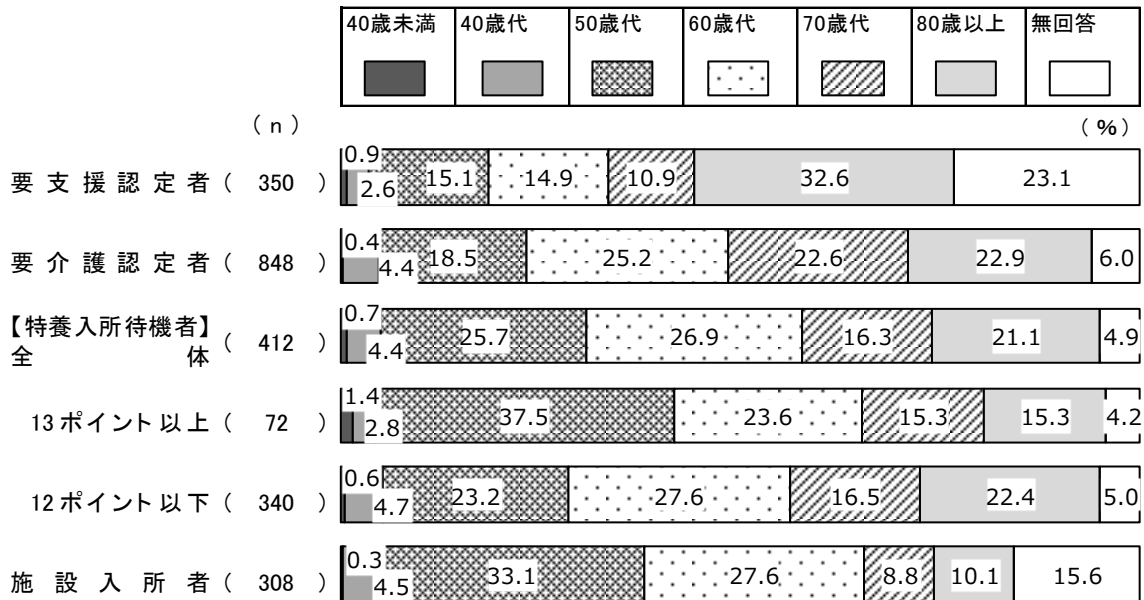


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

## ② 年齢

- 主な家族介護者の年齢は、要支援認定者では「80歳以上」が3割超となっている。
- 要介護認定者では「60歳代」が25.2%、「70歳代」と「80歳以上」がそれぞれ2割超となっている。
- 特養入所待機者および施設入所者では、「50歳代」と「60歳代」で半数以上となっている。

### ■年齢

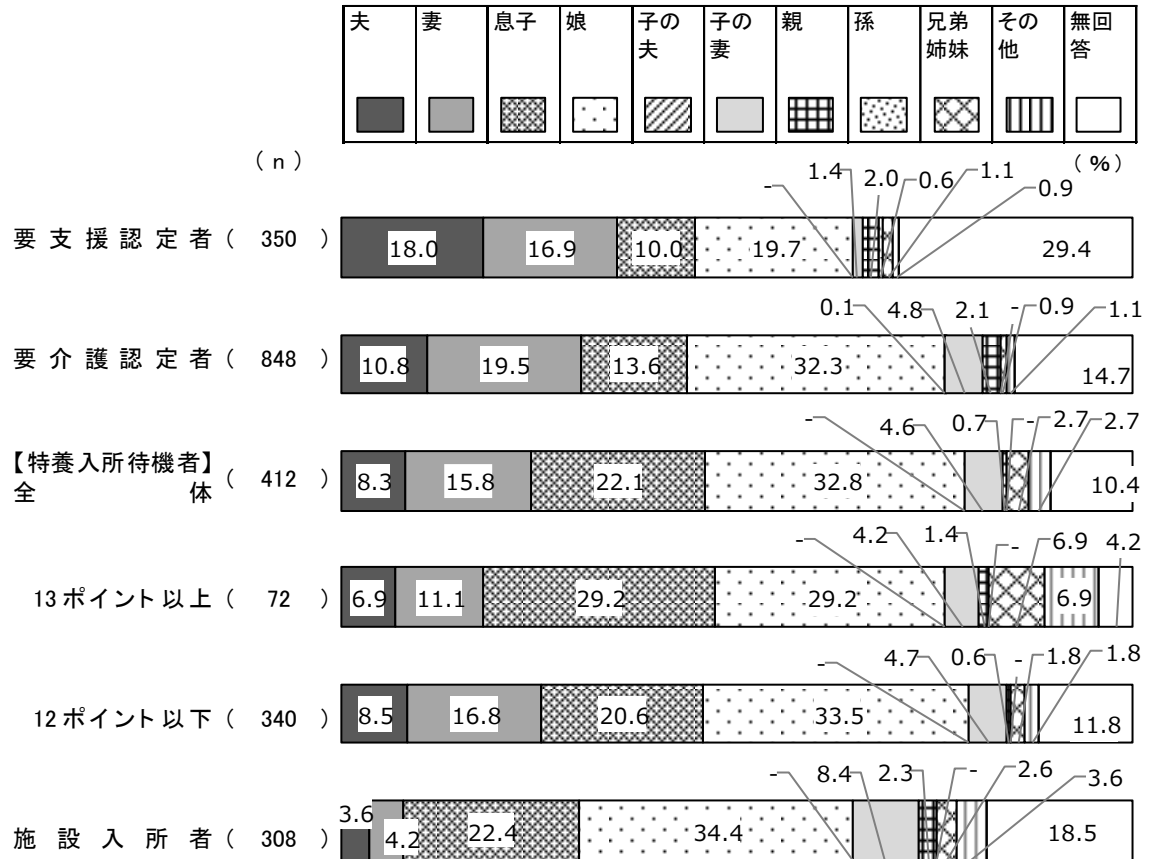


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

### ③ 続柄

- 主な家族介護者の続柄は、要支援認定者や要介護認定者では“配偶者”（「夫」と「妻」の合計）が3割超となっている。
- 特養入所待機者および施設入所者では、“子ども”（「息子」と「娘」の合計）が半数以上となっている。

■続柄

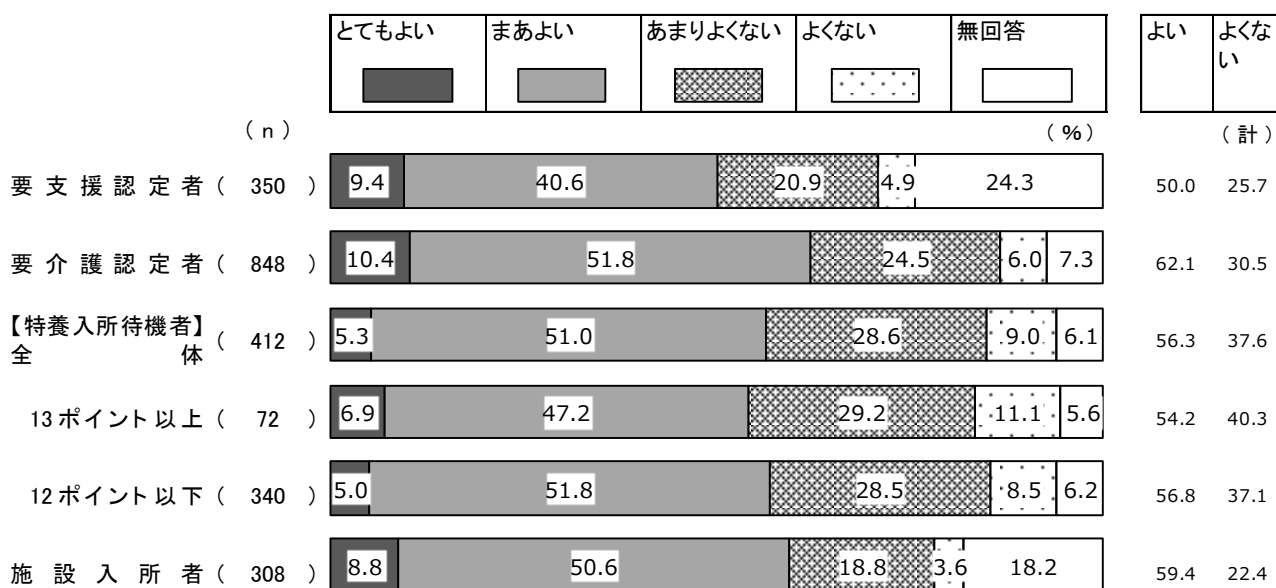


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

#### ④ 健康状態

○主な家族介護者の健康状態は、いずれの調査でも“よい”が“よくない”を上回っている。

##### ■健康状態



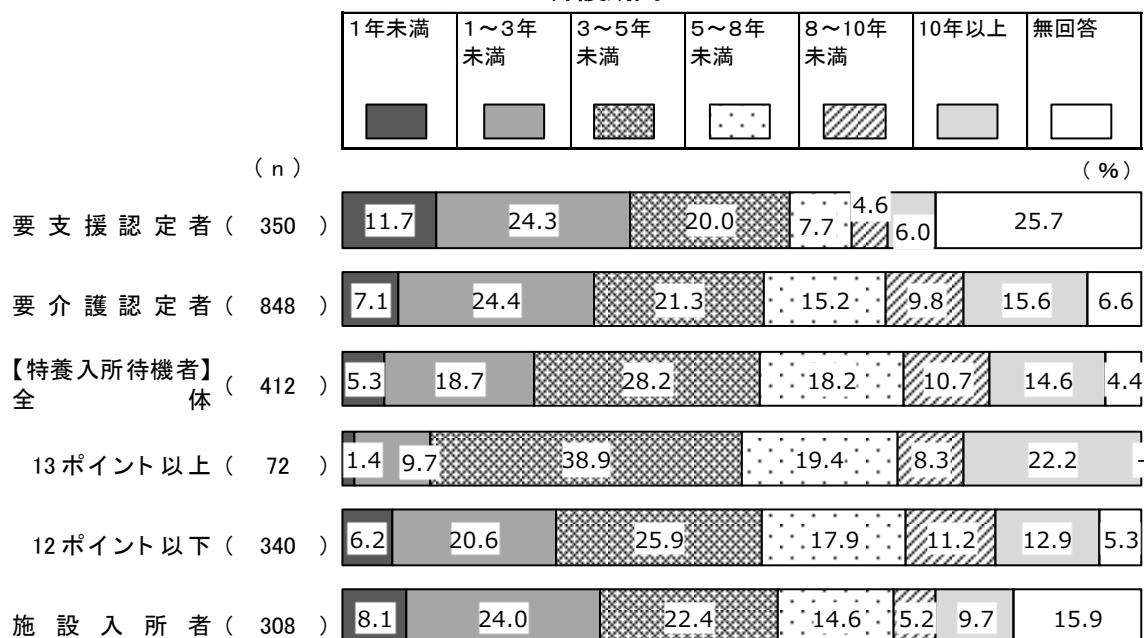
※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

#### (3) 介護期間

○主な家族介護者の介護期間は、いずれの調査でも“1～5年未満”が4割半ばとなっている。

○特養入所待機者のうち指数13ポイント以上では、「3～5年未満」が4割近く、「10年以上」が2割超となっている。

##### ■介護期間

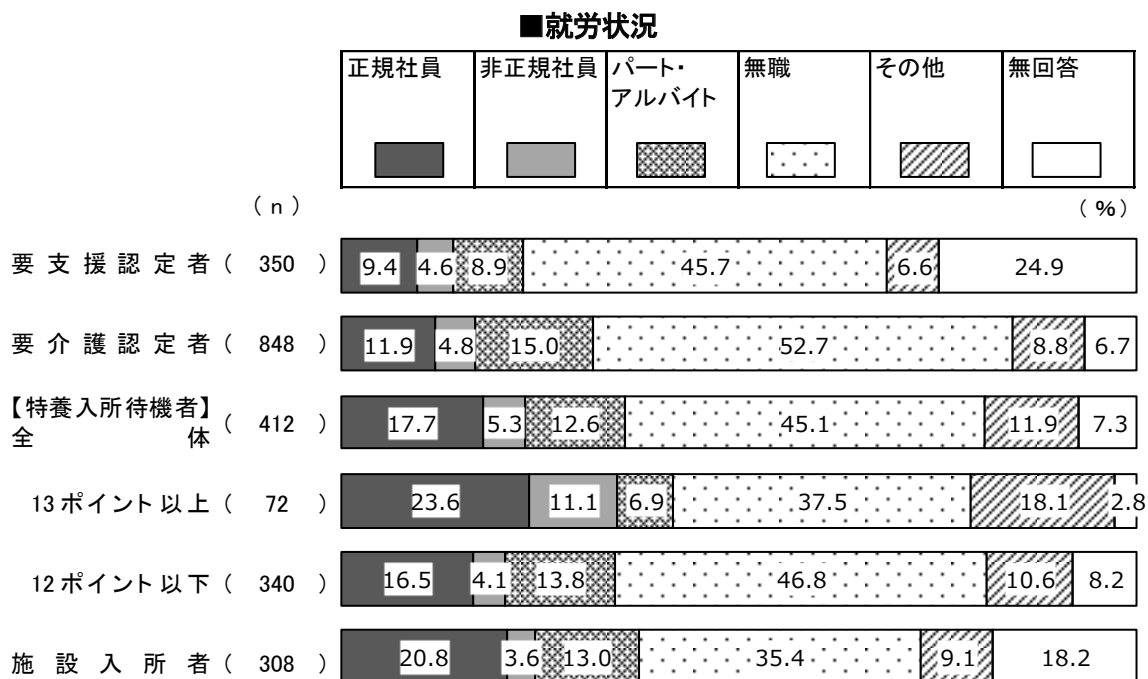


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

## (4) 介護者の就労状況

### ① 就労状況

○主な家族介護者の就労状況は、いずれの調査においても、「無職」が最も高いが、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者では就労している方が3割超となっている。

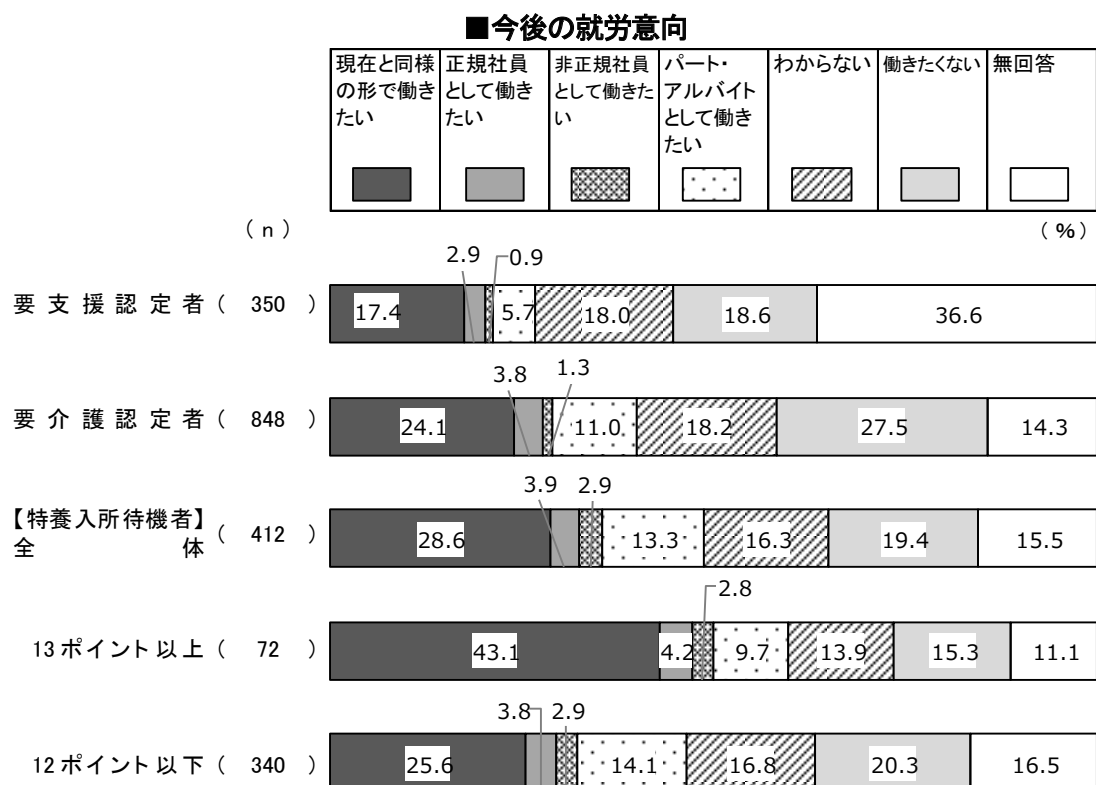


※ 施設入所者は、施設入所後の就労状況について聞いた

### ② 今後の就労意向

○主な家族介護者の就労意向は、要介護認定者では、「働きたくない」が27.5%で最も高く、「現在と同様の形で働きたい」が24.1%で続いている。

○特養入所待機者では、「現在と同様の形で働きたい」が28.6%で最も高く、「働きたくない」が19.4%で続いている。

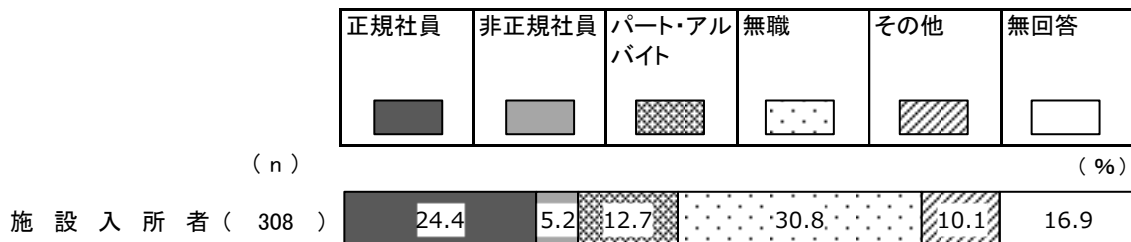


### ③ 施設への入所前後での就労状況の変化

○施設入所者の主な家族介護者の就労状況は、施設の入所前と比べて入所後に「正規社員」の割合が3.6ポイント減少し、「無職」の割合が4.6ポイント増加した。

#### ■施設への入所前後での就労状況の変化

【入所前】



【入所後】

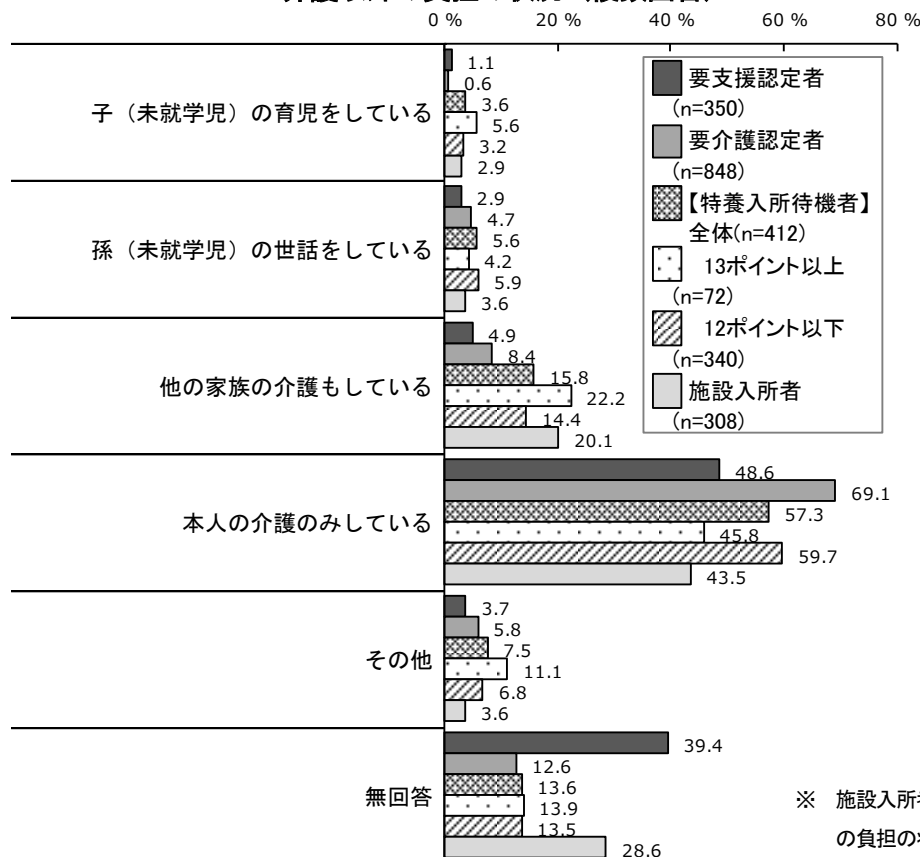


### (5) 介護以外の負担の状況

○主な家族介護者の介護以外の負担の状況は、いずれの調査においても、「本人の介護のみしている」が最も高い。

○「他の家族の介護もしている」は、特養入所待機者全体で1割半ば、施設入所者で約2割であった。

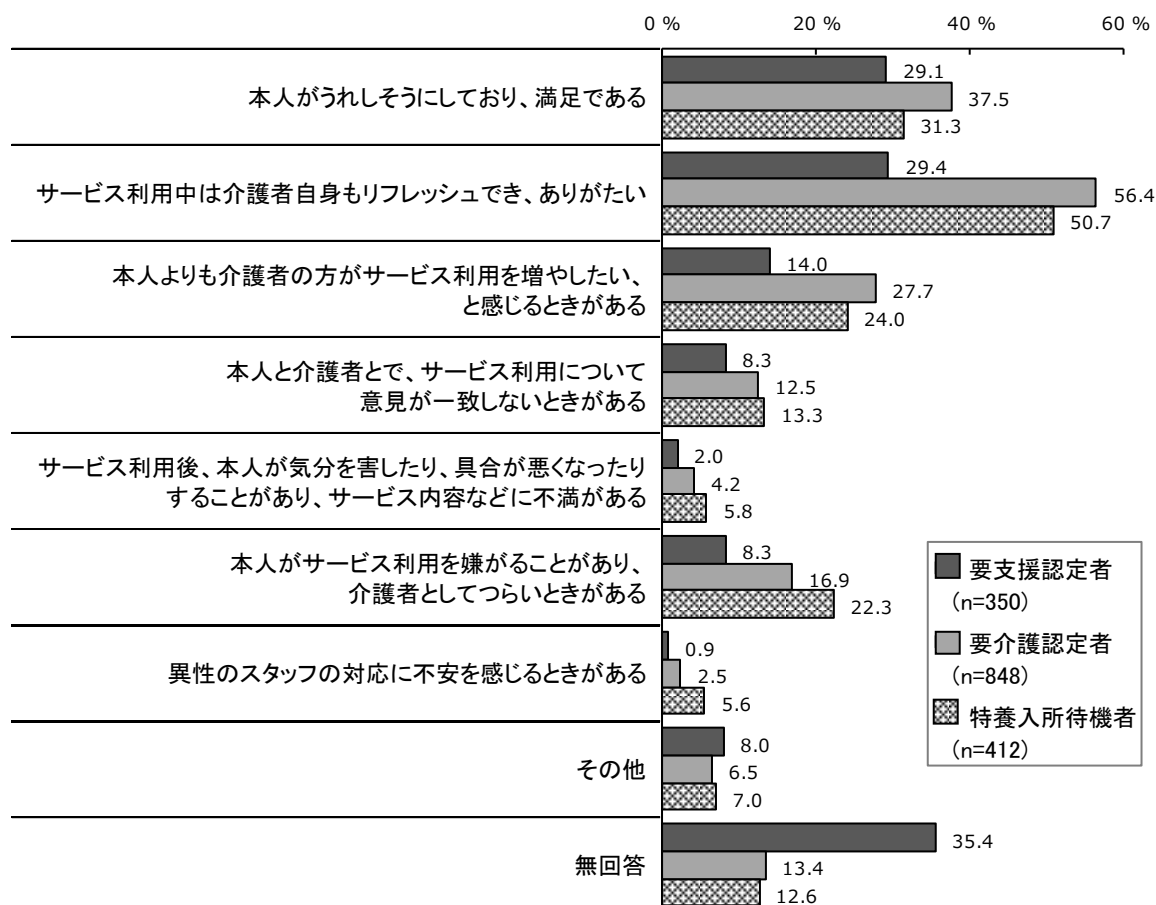
#### ■介護以外の負担の状況（複数回答）



## (6) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方

- 主な家族介護者の介護サービス利用時の感じ方は、要支援認定者では「本人がうれしそうにしており、満足である」「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が約3割で上位に挙げられている。
- 要介護認定者、特養入所待機者ともに「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が最も高い。次いで、「本人がうれしそうにしており、満足である」となっている。

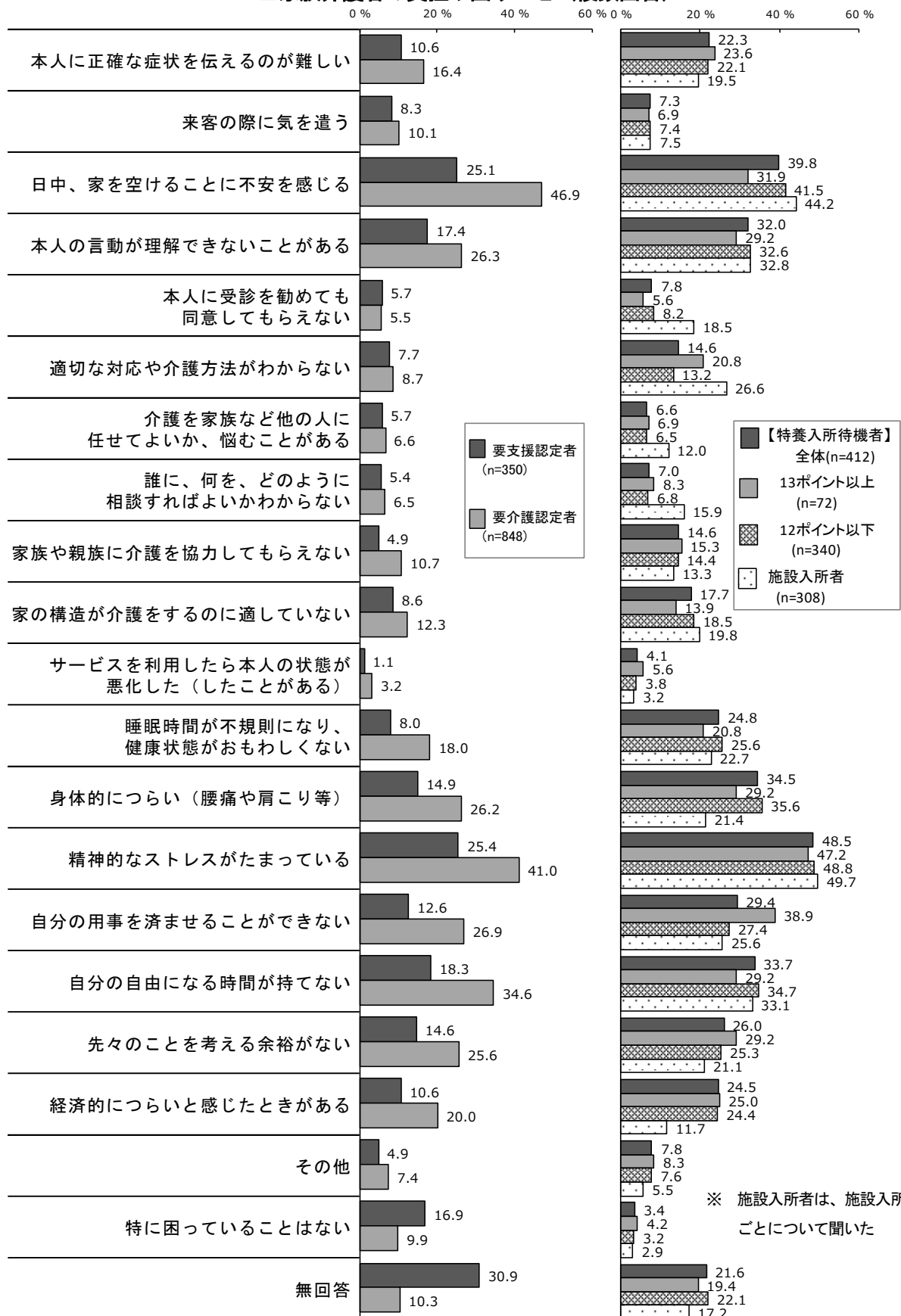
■介護サービス利用時の家族介護者の感じ方（複数回答）



## (7) 家族介護者の負担や困りごと

○主な家族介護者の負担や困りごとは、いずれの調査でも「日中、家を空けることに不安を感じる」と「精神的なストレスがたまっている」が上位に挙がっている。

■家族介護者の負担や困りごと（複数回答）



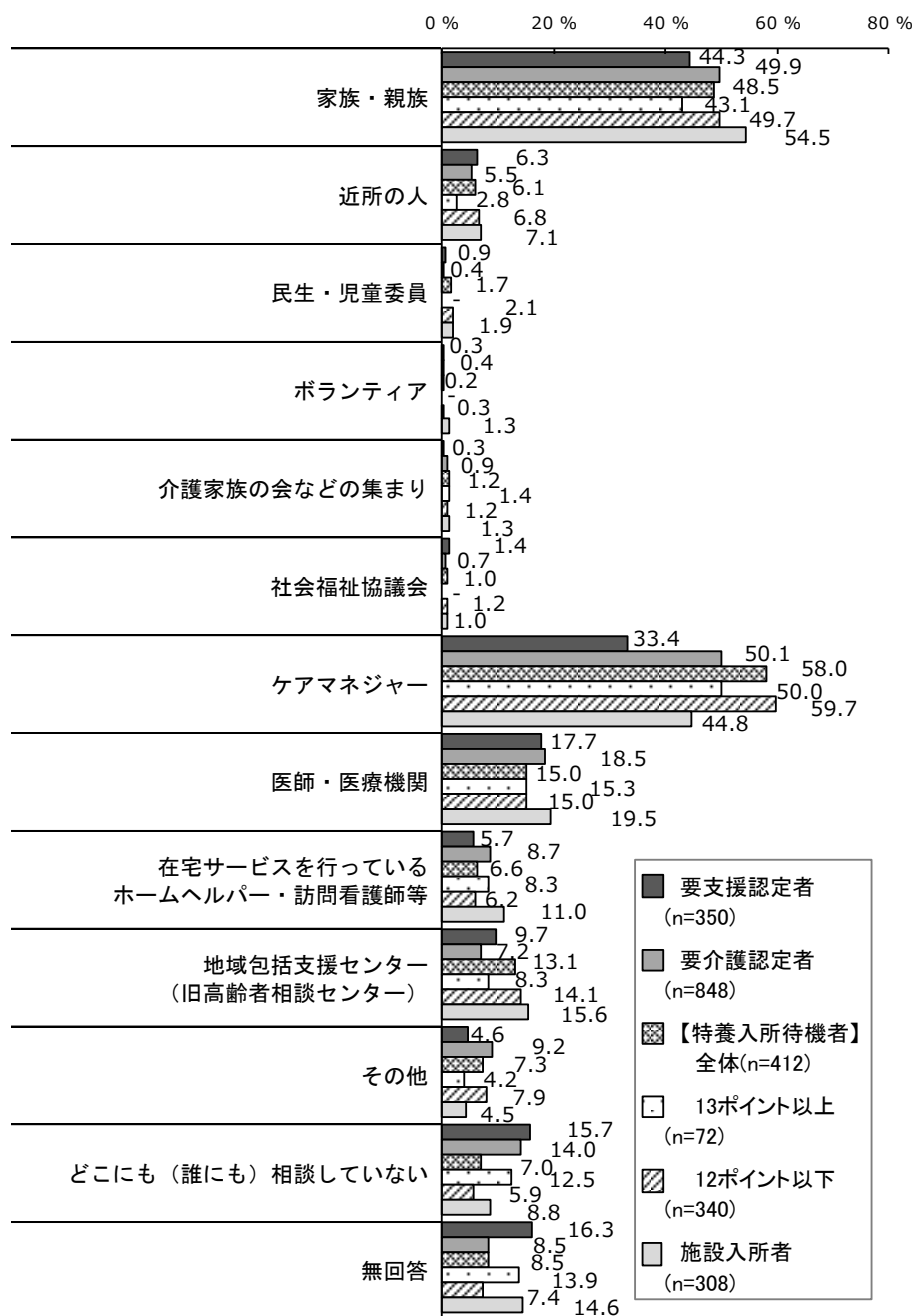
※ 施設入所者は、施設入所前の負担や困りごとについて聞いた



## (8) 介護をしていてつらい時の相談先

- 主な家族介護者のつらい時の相談先は、要支援認定者と施設入所者では「家族・親族」が最も高く（それぞれ 44.3%、54.5%）、次いで「ケアマネジャー」（それぞれ 33.4%、44.8%）となっている。
- 要介護認定者では、「ケアマネジャー」（50.1%）、「家族・親族」（49.9%）が上位に挙がっている。
- 特養入所待機者では、「ケアマネジャー」が最も高く 58.0%、「家族・親族」（48.5%）が続いている。
- 「地域包括支援センター」はいずれの調査でも 1割前後となっている。一方、「どこにも（誰にも）相談していない」と回答した人はいずれの調査でも 1割前後となっている。

■介護をしていてつらい時の相談先（複数回答）

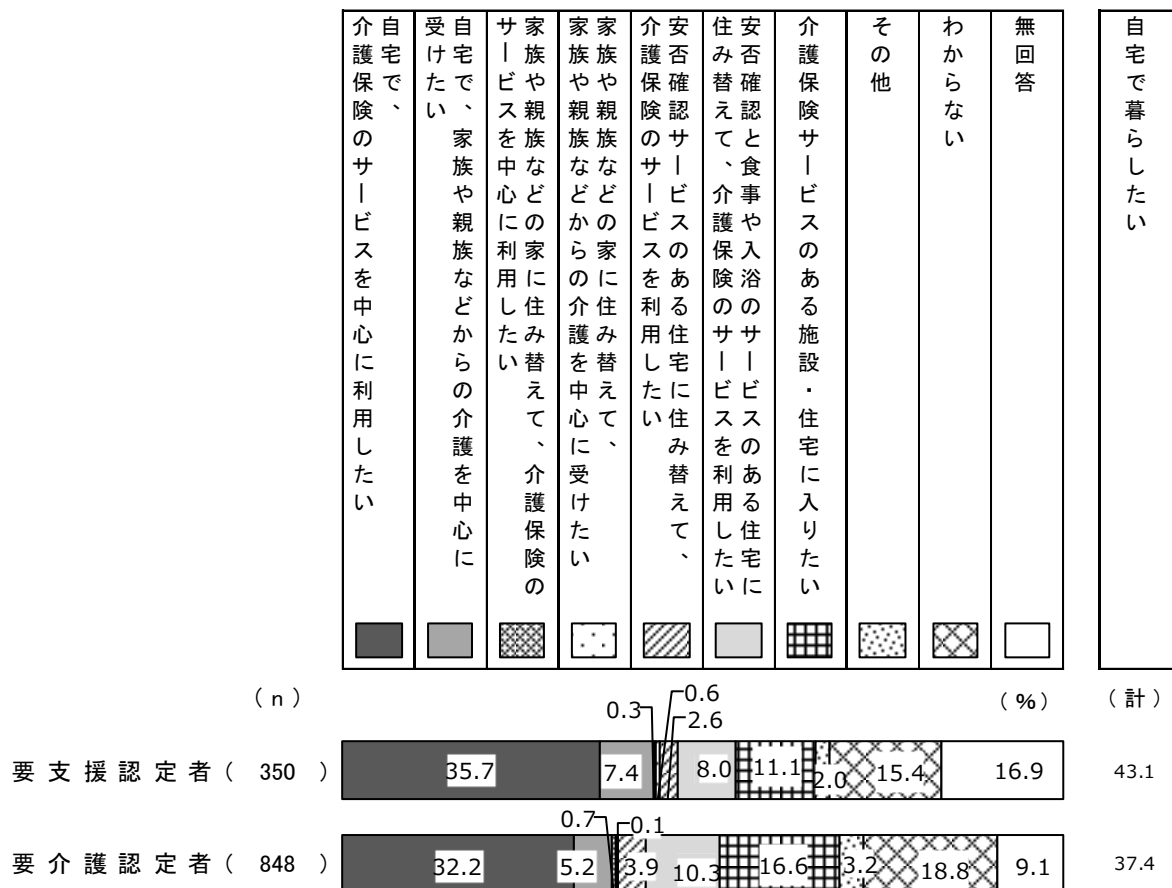


※ 施設入所者は、施設入所前の介護をしていてつらかったときの相談先について聞いた

### (9) 介護者が希望する自身の将来の姿

- 主な家族介護者が希望する自身の将来の姿は、要支援認定者、要介護認定者ともに「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」が最も高く、それぞれ35.7%、32.2%となっている。要支援認定者では、“自宅で暮らしたい”は、4割超となっている。
- 一方、要介護認定者では「介護保険サービスのある施設・住宅に入りたい」の割合が要支援認定者よりも5ポイント以上高くなっている。

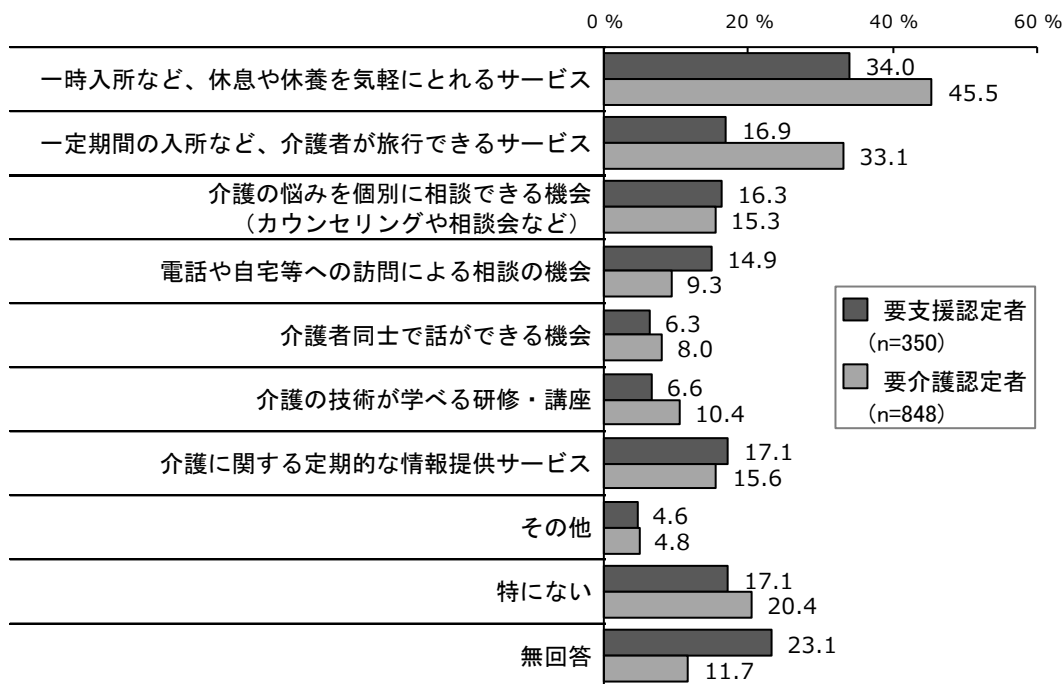
■介護者が希望する自身の将来の姿



## (10) 在宅介護を継続する上で介護者自身が受けたい支援

○在宅での介護を継続していくうえで、主な家族介護者自身が受けたい支援は、要支援認定者、要介護認定者ともに「一時入所など、休息や休養を気軽にとれるサービス」が最も高く、それぞれ 34.0%、45.5%となっている。要介護認定者では、次いで「一定期間の入所など、介護者が旅行できるサービス」が 33.1%と高くなっている。

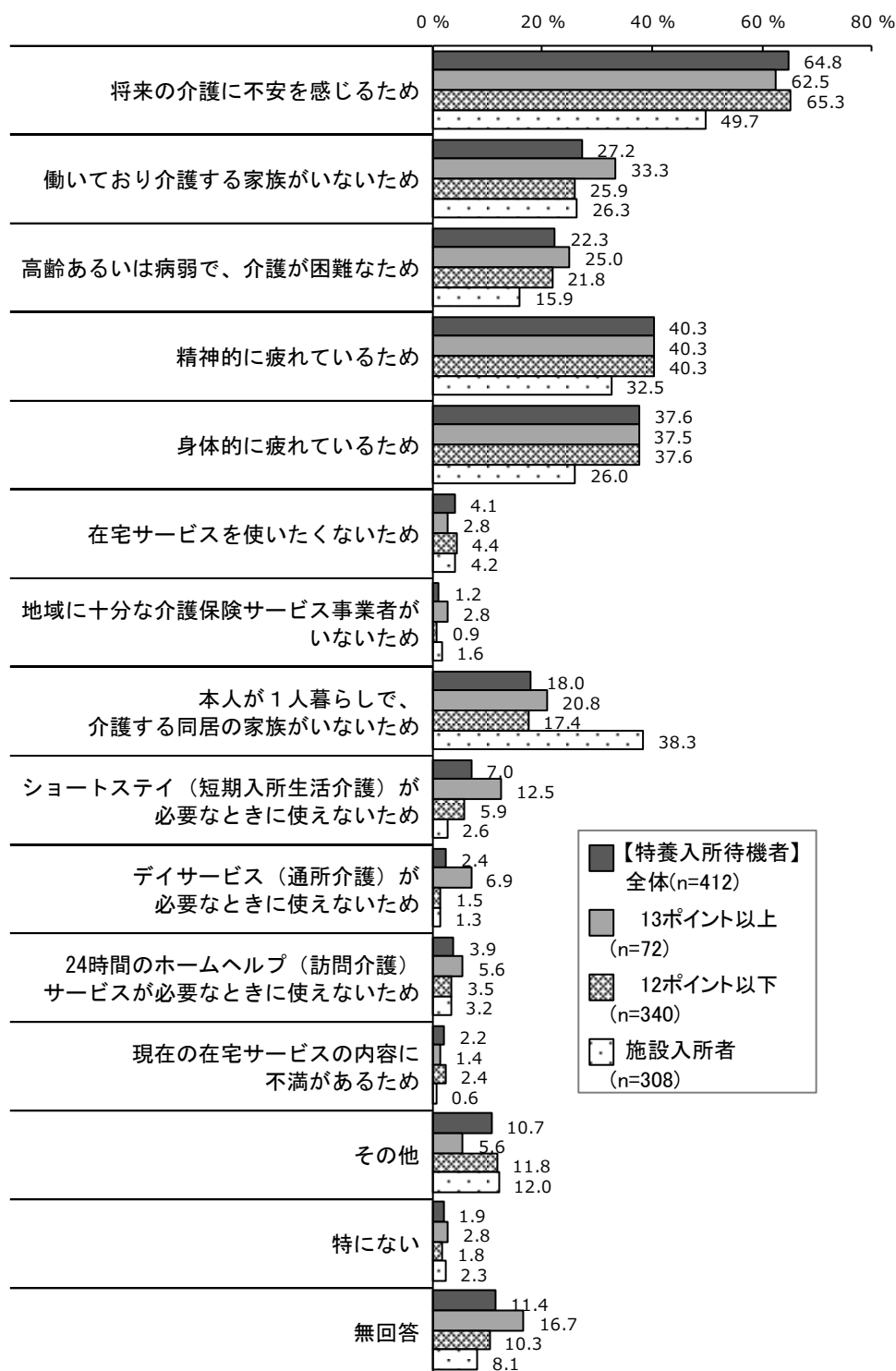
■在宅介護を継続する上で介護者自身が受けたい支援（複数回答）



## (11) 施設に申し込んだ理由（主な家族介護者）

- 主な家族介護者が施設（特養あるいは各入所施設）に申し込んだ理由は、いずれの調査においても、「将来の介護に不安を感じるため」が最も高く、特養入所待機者では6割超となっている。
- 特養入所待機者では、次いで「精神的に疲れているため」（40.3%）、「身体的に疲れているため」（37.6%）が上位に挙がっている。
- 施設入所者では、次いで「本人が1人暮らしで、介護する同居の家族がいないため」（38.3%）が上位に挙がっている。

■施設に申し込んだ理由（複数回答）



## (12) 家族介護者が施設に期待すること

- 主な家族介護者が施設（特養あるいは各入所施設）に期待することは、特養入所待機者では「24時間体制で介護が受けられること」が70.6%で最も高く、「専門的な介護が受けられること」（60.2%）、「孤独にならないこと」（54.9%）が上位に挙がっている。
- 施設入所者では、「24時間体制で介護が受けられること」（61.7%）、「孤独にならないこと」（57.5%）、「専門的な介護が受けられること」（57.1%）が上位に挙がっている。

■家族介護者が施設に期待すること（複数回答）

